

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 太陽ユニット

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入社時に法人理念を伝え、施設内に掲示し共有している。全職員が意識しより一層実践していく必要はある。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ以降、職員不足もあり、地域に出向く事が難しくなっていた。今後は、感染症などに気をつけながら、機会を増やしていきたい。	自治会の行事が草引きくらいしかない。月 1 回地域カフェや椅子体操をしているので可能となれば参加してください。地域カフェなど地域側からの支援も必要		地域の行事が少なくなった。自治会の行事が草刈りくらい。コロナで中止していたカフェを再開したが不定期実施
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に地域の方が参加いただける事も増え、地域の特性など、お話を伺えている。			出来るだけ参加していきたい。定期的に会議が行われており、具体的な検討がされている。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	わからない事があれば、電話や窓口に出向く等している。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各ユニット入り口や玄関も日中施錠しておらず、自由に行き来できる環境である。外国人スタッフにも理解出来るように配慮し、職員の研修を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度、法人としても外部講師を招き、研修など取り組みを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は研修を行っていたが、最近実施できていない。職員の入れ替わりもあり理解を深める必要がある。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には、不安や疑問点がないか確認をしている。また、改正等があれば、書面にてお知らせしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の日々の様子に気をつけ、いつもと違う様子見られた時は、声がけ行なっている。家族様は面会時や電話で意見や要望を受け付けている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人として年2回のアンケートや福利厚生の実施など、働きやすい環境整備に努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者が個々の把握は難しい点もあるが職員が体調や状況に合わせた働き方が出来る様に話し合い配慮している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者が個々の把握は難しいがオンライン研修を活用し、いつでも学ぶことが出来る環境を整えている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループ施設との交流はあるが、外部の同業者との交流は行なっていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事活動への参加など、出来ることは行なっていただけるように、声がけ等行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や外出の制限はない。友人の面会がある方もいる。職員が付き添っての馴染みの場所へ出かける機会は確保できていない。			

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりの中で、希望や意向の把握に努めている。病状により希望が伝えにくい方は、表情や様子を見て把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向は日常的に、家族の意向は電話や面会時など聞き取りし、職員同士で共有する事が多い。		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録システムを活用。職員が施設携帯にて情報共有している。ユニットに1dayシートを置き、いつでも気が付いた事を書き込めるようにしている。		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	突発的なニーズ等あれば、家族様と相談し、柔軟に対応するよう心掛けしている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ㊦. ほとんどできていない	一人ひとりの地域資源の活用が十分とは言えない。今後把握に努めたい。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に主治医について説明し、意向の確認を行なっている。入居後は月2回の往診を受けられている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時情報提供を行なっている。家族が遠方など、対応が難しい場合は、洗濯物・必要物品準備など施設で対応する事もある。退院前カンファレンスへの参加など、スムーズな受け入れが出来る様に努めている。		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている	入居時、重度化・看取りの指針について確認していただいている。主治		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医や訪問看護の助言を受け、家族と相談させていただく事もある。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている ㊟ あまりできていない D. ほとんどできていない	外国人の職員も多く、研修や訓練を重ねていく必要がある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている ㊟ あまりできていない D. ほとんどできていない	BCP の見直しと訓練、地域との協力体制については話し合いを重ねる必要がある。	南が丘までは遠く、施設近くの県営住宅4階など、避難場所の検討が必要。ライフジャケットなど独自の対策はよい事。市役所等と、どう避難するか？詰めていく必要がある。BCP はどこも手探りである。知らない職員もいる為、施設から避難場所までのルート確認だけでもしておくが良い。他施設では消防署と一緒に考える等取り組んでいる所もある。方法が見えず答えが出ないが、話し合いを続けていく必要がある。施設での待機が可能な場合など、段階を踏んだ対策の検討も必要。	A. 十分にできている B. ほぼできている ㊟ あまりできていない D. ほとんどできていない	立地条件や地域の方の関わり方等様々で、地域との協力は難しい印象である。避難ルートの確認。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている ㊟ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員で情報を共有し、一人ひとりに合った声がけが出来る様に、心掛けている。		A. 十分にできている ㊟ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ㊟ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々様子に気をつけ、声がけは行なうが強制はせず、一人ひとりにあったペースで過ごしていただいている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている ㊟ あまりできていない D. ほとんどできていない	準備については、職員が行っている。片づけ時はテーブルやお盆拭きなど、入居者様にお願いしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている ㊟ あまりできていない D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・水分の摂取量に気をつけ、声かけを行なっている。体調に合わせて、食事形態の変更等も行なっている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様に合わせた歯磨きの声かけ、介助行っている。また、希望者は歯科衛生士による口腔ケアを定期的に受けている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表にて排泄パターンの把握に努めている。お一人お一人に合わせた便秘時の対応や排泄介助時間を実施している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同性介助希望の方は同性職員にて対応。拒否がある方は翌日に変更するなど、入居者様の希望に合わせている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつでも自由に居室に戻り、休息していただけるようにしている。介助は必要な方は様子観察を行ない、状態に合わせて休息していただいている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が全入居者の処方薬の確認がいつでも出来る様にファイルしてある。薬の変更がある時は、申し送りを行ない気をつけて様子観察している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人おひとりに合わせて、家事活動や余暇時間の声がえを行なっている。今後、生活歴を活用していくよう努めていきたい。また、楽しみごとを増やしていく必要がある。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員不足や施設の車が2施設共有ということもあり、施設として外出行事が行えていなかった。今後は行なっていきたい。家族様との外出は制限なく行えている。			

		人々と協力しながら出かけられるように支援している					
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている ㊥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様個人でのお金の所持はほぼなく、事務所にてお預かりしている。希望や必要な物があれば、購入代行を行なっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている ㊥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、手紙のやり取りをされている方はいないが、届いた物をお渡ししたり、希望があればポストへの投函を行なう。入居者・や家族の希望時には、電話出来る様に支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている ㊥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各居室には、使い慣れたものや希望された物を、安全を確保した上で自由に持ち込んでいただいている。共用スペースは、入居者様同士の関係性や安全等も考慮して、配置している。		A. 十分にできている ㊥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ㊥ あまりできていない D. ほとんどできていない	その場での意思決定はしていただけているが、願いや意向について、日々の会話や様子から、より理解していく必要がある。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている ㊥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の情報や日々の生活での様子等、職員間で共有し、適切な支援が行えるよう心掛けている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている ㊥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医による往診や週1回の訪問看護、毎日のバイタル測定など行っている。食事量や排便等、日々の健康管理に努めている。		A. 十分にできている ㊥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている ㊦ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	余暇時間や就寝時間等、ご本人のペースでご希望に合わせて、過ごしていただいている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている ㊦ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室の備え付けは、エアコンとベッドのみで、それ以外は安全を考量した上で、自由にお持ち込みいただいている。		A. 十分にできている ㊦ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ㊦ ほぼできている D. ほとんどできていない	施設敷地内は自由に外に出ることが出来るが、気候が厳しく難しい事も多い。また、施設外への外出は家族様に付き添いいただいている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ㊦ ほぼできている D. ほとんどできていない	出来る事・できない事の把握は職員が行っている。ご本人に合わせた声かけを行なっている。より、楽しみごとを増やしていく努力が必要。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている ㊦ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事活動など行われる際は、いきいきとした様子見られる。また、入居者同士で馴染みの関係が出来ており、会話する様子が見られる。		A. 十分にできている ㊦ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ㊦ ほとんどできていない	馴染みの方が面会に来られることはあるが、近隣や地域との交流は行なえていない。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ㊦ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員や他入居者との馴染みの関係が出来ており、安心して過ごすことが出来ている。また、家族との面会や外出は自由に行なえている。地域との交流が課題である。		A. 十分にできている ㊦ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	